

みんなで作る イキイキあらかわ ニコニコあらかわ

豊かなふるさと 明るい未来へ

地域コミュニティ

- ① 地域の子どもが楽しめるイベントを開催しましょう。
 - ・子どもが楽しめる工夫をしたイベントや活動にして、親にも楽しく活動に参加してもらう
 - ・地域のボランティアチーム、学校、団体などの協力により、夏まつり、冬まつりを盛り上げていく
 - ・地域合同のイベントを開催する。(荒川まつり、敬老会、ねぶた祭り等)
 - ・イベントのお知らせ手段を工夫する。(回覧板やSNSなど)
- ② 地域をひっぱっていき人材を育てましょう。
 - ・若い人たちの地域の話合いへの参加をもっと多くする。可能な範囲で、町会の定例会など地域の会合に参加してもらう。
- ③ あいさつ運動を強化しましょう。
 - ・回覧板を回すなど、地域で強力に取り組む。町会ごとに一体となって挨拶月間等に取り組む。
 - ・大人からのあいさつ運動をする。いつでもどこでも誰でも、大人同士のあいさつをする。

環境

- ① ゴみのポイ捨てがないまちにしましょう。
 - ・公園や道路など公共の場所で、ごみを拾う活動をする。
 - ・子ども会や町会に働きかけて、ゴミ拾いをしてもらう。
- ② ゴみの分別、リサイクル率の向上をめざしましょう。
 - ・アパート住民に対してゴミ出しルールを守ってもらう活動を進めましょう。
 - ・マナーの向上やリサイクルについて、SNS等を使って啓発しましょう。
- ③ みんなが集う公園等を整備し、地域のために利活用しましょう。
 - ・地域の公園等を整備し、地域のイベントの開催や交流の場にする。
 - ・花・花壇を地域に増やしていく。



安全・安心

- ① 地域で災害へ備えましょう。
 - ・防災情報を掲載したハザードマップを作成し、配布しましょう。
 - ・消防団への加入者を増やしましょう。
 - ・緊急連絡先、避難場所を確保する等、町会毎に防災体制を整える。
 - ・定期的に防災訓練を行いましょう。また、地域の公共施設等の職員の皆様にも参加いただきましょう。
- ② 交通事故防止運動をしましょう。
 - ・危険箇所等を掲載した交通事故防止マップを作成し、配布しましょう。
 - ・荒川十文字から空港方面に向かう道路の交通安全運動を行う。
 - ・交通量が多かったり、道幅がせまく歩道がない道路もあり、通学途中の子どもたちが危険なため、見守り活動や事故防止運動を行う。
 - ・必要に応じて、行政に働きかける。



福祉

- ① 福祉ボランティアをさかんにしましょう。
 - ・荒川ボランティアチームを作る。
 - ・民生委員と協力し、現状を把握する。(福祉ボランティアを必要とする世帯等)
 - ・除雪ボランティアをする場合の実施ラインを設定する。(玄関・間口まで等)
 - ・荒川中学校(ボランティア部)との連携をする。
 - ・企業の社会貢献や、支援が必要な方の防災に関する情報などを集め、活動をする。
- ② 心のえんがわ事業(社協)に協力しましょう。
 - ・各町会で検討する。集会所の開放など。
- ③ 子どもが親同士が交流したり、児童が元気に遊べるようにしましょう。
 - ・荒川市民センター3階「荒川児童室」との連携をとる。
 - ・呼びかけて利用を増やす工夫をする。
- ④ 高齢者を対象にした事業を行いましょう。
 - ・体操等の健康教室等を行う。
 - ・健康教室等に参加してもらうよう、地域の方に呼びかける。
 - ・市の高齢者等の配食サービスが継続できるように協力する、



スポーツ・文化

- ① 地域に伝わる文化や歴史を大切に、伝えていきましょう。
 - ・「獅子舞クラブ」の一層の活躍を応援する。
 - ・八幡宮行事や権現様の行事を大切にする。
 - ・「まち歩き」や伝統芸能、奥州街道を見て廻れるツアーを行う。
 - ・メンバー自らも地域の歴史を勉強し、子供たちに伝えていきましょう。
- ② 地域でスポーツを楽しむまちにしましょう。
 - ・住民こぞって参加できる運動会を開催する。
 - ・地域のスポーツイベントの予定や開催場所を掲載した年間マップを作成することで、スポーツに参加しやすい仕組みを作る。
- ③ 生涯学習のさかんなまちにしましょう。
 - ・文化やスポーツのサークル活動を地域みんなで応援する。
 - ・親子自然体験(八甲田牧場等)を企画・実施する。
 - ・食育事業の推進(野菜の栽培、料理、試食)

暮らし

- ① 定期的に地元の「野菜」を買えるまちにしましょう。
 - ・地元野菜の販売についての情報をお知らせしたり、地域内の施設等を利用して、地元の野菜を買える機会を作る。
- ② 子供が外で遊べるように工夫しましょう。
 - ・冬期間「外」での遊びが出来るように、冬まつりや、「雪だるま」や「かまくら」を作るイベントを企画・実施する。
- ③ 雪捨てマナーのよいまち・雪捨てによる事故がないまちにしましょう。
 - ・毎シーズンに1度か2度、「雪に関するマナー講習会(教室)」や、回覧板等による啓発活動を実施し、雪捨て可能な場所の案内や、雪の捨て方などを周知する。
 - ・地域の大切な流雪溝について、誤った使い方による雪詰まり、冠水、転落などの事故が起こらないよう、回覧板等により安全な使い方を周知する。



◆地域計画の概要

[目的] 荒川地域をよりイキイキ明るく暮らせる町にすること。
 [策定] 平成23年3月(令和5年4月一部改定)
 [計画期間] 令和5年度から令和9年度まで
 [区域] 青森市町会連合会南部第4区連合町会(荒川地区連合町会)の区域
 [手法] 参加型話し合い(ワークショップ)による作成



荒川のいいところ

子どもがいきいき人間性のあるまち

- ・素直な子が多い
- ・子ども・若者の挨拶が良い
- ・先輩後輩の関係が良い
- ・中学生のよさこいソーラン踊りが地域に根ざしている
- ・入内、野沢小学校が荒川小学校に統合されて、子どもの交流が多くなった。
- ・大人、若者、子どもはあいさつをはじめとした交流を深めている
- ・小・中学校と地域が連携した防災訓練が行われている

コミュニティが残っている

- ・町内会の町民のコミュニケーションが良い(挨拶もある)
- ・町内でいろいろな活動をしている(ペットボトル回収、通学路の清掃)
- ・地域イベントがたくさん、また、四季にちなんで開催(荒川まつり、敬老会、桜祭り、ねぶた祭り、盆踊り、芸能発表、権現様祭り、地区野球大会)
- ・荒川地域の人間性が良く、話しやすい人が多い
- ・昔からの神社での宵宮がある
- ・地域の方々が子ども達を見守ってくれている
- ・地域住民の元気。
- ・隣近所の付き合いがまだ充分残っている
- ・学校への協力体制の厚さ(保護者、民生委員、地域町会長等)
- ・高齢舎にやさしい地域を目指している
- ・登校児童の見守り活動が続いている(県道交差点ほか)
- ・八幡宮の運営管理が充実している
- ・地域健康づくり活動がさかんである
- ・防災意識が高く、地域で訓練がなされている
- ・毎月1回道路の清掃活動を行っている会社がある

公共施設等が充実している

- ・県立図書館、県立近代文学館
- ・コンピューターカレッジ、荒川市民センター
- ・保育所、小・中学校
- ・東奥日報本社、ABA青森朝日放送
- ・流通団地中核工業施設
- ・集会所
- ・郵便局
- ・荒川刑務所
- ・荒川駐在所
- ・消防屯所が地域内にたくさんある。

荒川はスポーツが盛ん

- ・荒川中学校のバレー部は強豪
- ・町会対抗野球大会がある(S22～) 勝敗結果は東奥日報に掲載される
- ・市民センター祭りで、様々な競技を行っている
- ・ウォーキングを楽しんでいる人が多い

芸術家のまち荒川

- ・版画家棟方末華の出生地
- ・ねぶた制作者の鹿内一生出生地
- ・童話、民話作家の北彰介の出生地

歴史の香りが残っている

- ・獅子舞
- ・歴史のあるお寺がある
- ・荒川八幡宮宵宮
- ・荒川の歴史と自然が感じられる旧奥州街道の老松
- ・観桜会、ねぶた祭り、庚神様、かまくら

自然が豊か

- ・ふくろうがいる ・春はひばりが鳴く
- ・カッコウ、キジ、トンビ、ツバメがいる
- ・田園風景と八甲田
- ・地域でキジやタヌキ、キツネが多くなった

アクセス・立地の魅力

- ・新幹線、飛行機などの高速道路網の沿線にある
- ・買い物が便利 ・市街地に近く静か
- ・問屋町・流通団地で働く人が多い
- ・市民センターが近くにあり便利である
- ・地域に流雪溝があるほか、荒川県道は定期的の除排雪がされている
- ・防災拠点が充実していて治安が良い(避難施設の荒川小学校、荒川中学校、県立図書館、荒川刑務所、荒川市民センター、防犯施設の荒川駐在所)



荒川の課題

地域コミュニティ

- ・地域の集会、行事に参加する若者が少ない
- ・若い人のボランティアが少ない
- ・ボランティアの活動が見えない
- ・高齢者と子供の集まりの機会が無い
- ・お隣お向かいとなかなか会えない
- ・近所の小中高校生を知らない
- ・子ども会活動が知られていない
- ・地域行事がみんなに伝わりにくい
- ・年齢が上になるほど、あいさつが乏しくなる
- ・地域全体での活動があればなお良い
- ・若い人との交流が少ない
- ・高齢化が進んでいる
- ・各町会の子ども同士のつながりが無い
- ・子どもの減少化

安心安全

- ・交通量、大型車が多く子供達が危険
- ・幹線道路以外は歩道が狭い、歩道がないところもある
- ・空港交差点を通る自動車のスピード出しすぎ、事故が多い
- ・通学児童の110番緊急避難所の場所が不明
- ・雪道の通学は車道を歩くので危険
- ・子供の見守り(登下校)にもっと参加してほしい
- ・八甲田霊園から青森カントリークラブまでの道路が悪い
- ・通学路の雪を片づけても各家庭が道に雪を出している
- ・災害時の避難場所を知らない地域住民がいる
- ・地域住民の防災意識の向上
- ・若い人が消防団、指導隊に入って欲しい
- ・地域内全体の安の危険箇所がわかるマップがない

暮らし

- ・商店が少なく買い物に不安
- ・車が無いと不便
- ・週に1回、もしくは月2回くらい農作物を大々的に販売する市場が欲しい
- ・市街化調整区域のため建物が自由に建てられない
- ・道の駅のような地域内外の様々な人が集まる場所が欲しい

環境

- ・タバコの吸い殻、ジュース缶の投げ捨てが多い
- ・ゴミステーションのマナーがよくない
- ・荒川土手の草がボーボーとなっている
- ・川などの自然環境を守る活動が不十分
- ・子供が自然の中で昔のように遊ぶことができなくなった
- ・川があるが、水質が悪く、川や小川に魚がいない
- ・子どもが自然環境で遊ぶことができなくなった
- ・荒川の公園が地域に周知されていない
- ・地域内に花が少ない

福祉

- ・高齢者世帯への生活支援が不足
- ・ボランティアにも限界がある
- ・個人情報への壁があって不便
- ・健康体操に高齢者も参加してほしい
- ・高齢者が除雪で困っている
- ・子ども会の活動が少ない

スポーツ・文化

- ・地域の歴史や文化を知らない住民が増えている
- ・伝統芸能の保存継承をする必要がある
- ・歴史と自然を守る地域の活動が少ない
- ・歴史や自然を詳しく学んだり、体験したりする機会がない
- ・地域で、いつ、どのようなスポーツを楽しめるかがわからない